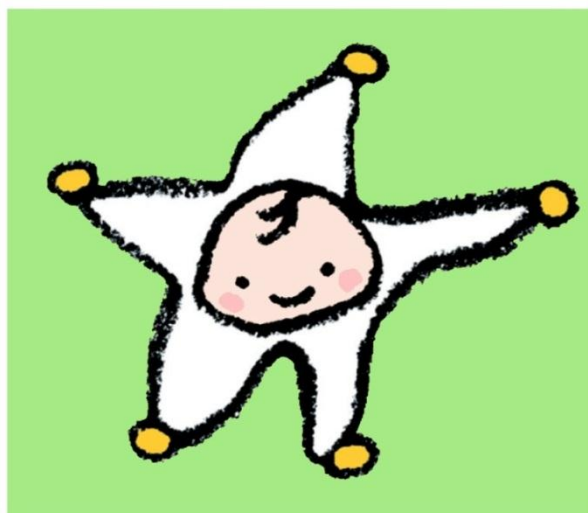


# 第2次伊達すこやか親子21



健やか親子21

伊 達 市

## はじめに



少子化や核家族化の進行、地域コミュニティの希薄化、共働き世帯の増加などにより、母子保健を取り巻く環境は大きく変化してきております。

このような中、妊娠・出産・子育てへの連続した支援を提供できる体制や地域で孤立しない子育てへの支援などが求められています。

本市では、平成18年に「伊達すこやか親子21」を策定し、すべての親と子が健やかに暮らせる地域を目指して様々な取り組みを進めてまいりました。

この度、現計画の最終評価をおこない、子育てに寄り添い、子どもの健やかな育ちを支援することを目的に「第2次伊達すこやか親子21」を策定いたしました。

今後は、本計画の基本理念である「すべての子どもが健やかに育つまち」を目指し、不安を解消し安心して子どもを産み育てることができる環境づくりや、学童・思春期から成人期へと続く保健対策等を、教育・保育・福祉等の関係者や地域の皆様と協力しながら取り組んでまいります。

最後に本計画の策定に当たり、貴重なご意見やご提言をいただきました策定委員の皆様をはじめ、関係機関、団体、インタビューやアンケート、パブリックコメントなど様々な形でご参加いただきました市民の皆様にお礼申し上げますとともに、今後の計画推進に当たりましても、伊達市の次世代を担うすべての子どもが元気に生まれ育ち、自分らしく暮らしていけるようすこやかな成長を見守る地域づくりにご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月

伊達市長 菊谷 秀吉

## 【目 次】

<b>I</b>	計画の策定にあたって	
1.	基本的な考え方	1
2.	計画の位置づけ	2
3.	計画期間	2
4.	目標	3
<b>II</b>	伊達市の概況	
1.	人口の状況	4
2.	出生率と合計特殊出生率	5
<b>III</b>	「伊達すこやか親子21」の評価	
1.	「伊達すこやか親子21」の評価	6
2.	各領域別の評価と方向性	
(1)	妊娠・出産期	7
(2)	子育て期	9
(3)	思春期	12
(4)	食育	14
<b>IV</b>	「第2次伊達すこやか親子21」の計画	
1.	妊娠・出産期	17
2.	子育て期	18
3.	学童・思春期	20
<b>V</b>	資料	
資料1.	妊娠中のアンケート結果	21
資料2.	乳幼児健診アンケート結果	24
資料3.	関係機関等との懇談結果	26
資料4.	「第2次伊達すこやか親子21」策定経過	28
資料5.	「第2次伊達すこやか親子21」策定委員会設置要綱	29
資料6.	「第2次伊達すこやか親子21」策定委員名簿	30

## I 計画の策定にあたって

### 1. 基本的な考え方

次世代を担う子どもが心身ともにすこやかに育つことを目的に、主に思春期から妊娠・出産・子育て期における一連の支援を行う母子保健は、生涯を通じた健康の出発点であり、次世代を安心して生み、すこやかに育てるための基盤となるものです。しかし、少子化や子育て世帯の孤立化といった社会構造の変化や、核家族化や共働き世帯の増加といった家族形態の多様化など、子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変わってきています。また、育児不安や児童虐待などの問題もますます深刻化しています。

このような中、国は平成12年に21世紀の母子保健の主要な取り組みを示すビジョンとして「健やか親子21」（以下「国計画」という。）を発表し、推進してきました。そして平成26年にこれまでの取り組みの評価を踏まえ「健やか親子21（第2次）」（以下「第2次国計画」という。）が策定されました。

国は、「少子化に伴う子育て環境の変化や家族形態、家庭環境の違いが多様化する中で、子どもがよりすこやかに生まれ育つためには、子育て支援の充実とともに個々の状況に応じた多様性を認識した母子保健サービスの展開をすることが重要」としています。加えて、地域全体で子育てを支えることができるよう地域の支援ニーズを把握することもより重要になってきます。

国計画の最終評価から、課題として「日本全国どこで生まれても、一定の質の母子保健サービスが受けられ、かつ命が守られるという地域間での健康格差を解消すること」と「疾病や障害、経済状況等の個人や家庭環境の違い、多様性を認識した母子保健サービスを展開すること」が出され、それを受けて10年後の目指す姿を「すべての子どもが健やかに育つ社会」としました。その実現に向けて、次の図にあるように3つの基盤課題と2つの重点課題を設定しています。

当市においても、平成18年に次世代の育成の基盤となる行動計画として策定した「伊達すこやか親子21」（以下「前計画」という。）の計画期間終了（平成27年度）に伴い、第2次国計画に沿って、現状と目標を明らかにした「第2次伊達すこやか親子21」（以下「本計画」という。）を策定し、次世代を担う子どもが心身ともにすこやかに育つことができるよう親子への支援の拡充を目指します。

## 健やか親子21（第2次）



(出典:厚生労働省ホームページ)

### 2. 計画の位置づけ

本計画は、少子化や核家族化の進行により、子育ての悩みを相談できる家族や友人が身近にいないなどの母親の孤立を防ぎ、地域社会全体で子育てを支援する取り組みが重要であることから、「伊達市子ども・子育て支援事業計画（平成27年3月策定）など関連計画や第6次伊達市総合計画及び次期総合計画と整合を図るものとします。

### 3. 計画期間

本計画の目標年次は平成36年度とし、計画の期間は平成28年度から平成36年度とします。なお、計画期間内に次期総合計画の策定が予定されていることから、必要に応じて見直しを行うこととします。

#### 4. 目標

本計画は第2次国計画の理念に沿って、「すべての子どもがすこやかに育つまち」を基本理念として、「子どもたちがすこやかに育ち、安心して生み育てることができるまち」を目標とします。

なお、第2次国計画においては、3つの基盤課題・2つの重点課題に基づき、取り組みを進めることとしていますが、本計画においては、「すべての子どもがすこやかに育つまち」という基本理念を実現するために、前計画で取り組んだ3つの領域（課題）である「妊娠・出産期」、「子育て期」、「思春期」に引き続き取り組みます。健康で質の高い生活を送る力を育てるための「食育」はそれぞれの領域の中に組み込み計画を策定します。

また、『思春期』は基盤課題Bの「学童期・思春期から成人期に向けた保健対策」に連動して『学童・思春期』とします。さらに、国の2つの重点課題である「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」、「妊娠期からの児童虐待防止対策」はそれぞれの領域（課題）の中で取り組みます。

(イメージ図)

